

1時間でできる情報モラル教育

実例を基にした実践事例

東京都立石神井高等学校 小松 一智

昨年、Twitter で不適切なつぶやきをすることによる炎上が頻発した。特に夏季休業中の解放的な時期に多く、高校でも1年生1学期のうちから情報モラル教育を実施しておく必要がある。そこで、昨年と今年に実際に行った事例を基にした1時間でできる情報モラル教育を紹介する。

1. はじめに

昨年は社会問題にもなった Twitter での不適切なつぶやきによる炎上。Twitter だけでなく各種 SNS でも同様のことは十分に起こり得る。

現在の高等学校学習指導要領では 総則 第5款 5 (10) において、次のような記述がある。

各教科・科目等の指導に当たっては、生徒が情報モラルを身に付け、コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段を適切かつ実践的、主体的に活用できるようにするための学習活動を充実するとともに、これらの情報手段に加え視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。

さらに、本校が設置している社会と情報に関する記述では

(3) 情報社会の課題と情報モラル

ア 情報化が社会に及ぼす影響と課題

とある。情報モラルとは仕組みを理解し、自分なりに納得してこそ身に付くと考えているので、情報モラルという單元ではなく、別の單元の内容として実施した。その單元とは

(1) 情報の活用と表現

ア 情報とメディアの特徴

情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用するために、情報の特徴とメディアの意味を理解させる。

である。本発表では、この分野において1時間で実施した情報モラル教育を紹介する。

2. 授業実践

本校は前述したように1年次に社会と情報を2単位で設置している。その中での実践を行った。

なお、本校は都立の中堅校であるが、実践内容としてはどのレベルでも同様に実施できると思われる。

本校は、部活動が盛んで、部活における連絡は生徒同士がLINEで取り合うなど情報機器を便利に活用している。そういう状況だからこそ、早い時期に実施するのが望ましいと考え、1学期の早い段階で1年生に対しこの授業を行うこととした。

使用した教科書は実教出版の最新社会と情報であったこともあり、違和感なく実施することができた。当然のことであるが、他社の教科書を使っても同様のことは実施可能である。

2.1 本時の展開

表1にまとめる。

表1 本時の展開

導入	本時の内容について ・情報の特徴 ・情報モラル
展開①	・情報とは 情報の特徴 ○残存性 ○複製性 ○伝播性

	<p>・ 情報の特徴</p> <p>「残存性」 一度作られた情報は、完全に消えることがない。物体は人に渡すと手元から消えるが、情報は自分の記憶から消えることはない。</p> <p>「複製性」 デジタル化した情報は、劣化させることなく短時間に大量に複製することが可能である。</p> <p>「伝播性」 インターネットを活用することでデジタル化した情報を世界中に発信することが可能となった。</p>
展開②	<p>Web ページの事例を見せて、残存性、複製性、伝播性のどれにあたるのか確認</p> <p>事例1 「Yahoo!知恵袋」 事例2 「SNS での不適切な投稿」 事例3 「Twitter における炎上の流れ」 事例4 「Twitter のつぶやきだけで個人を特定できるのか」</p>
まとめ	<p>・ 本時の授業を受けて、今まで自分が行ってきた SNS の使い方とこれからどのようにしていくかを各自で検討</p>

2.2 振り返り

こういった情報モラル教育では生徒が授業を受けてどのように変わったかを自分自身で気づかせることが大切であると考えます。そのため、まとめの時間に生徒自身に授業を受けてどうだったかの感想を書かせました。

3. まとめ

授業の感想を見ると、授業の実践前から想像していた通り「なんとなく使うことができるから、仕組みはわからないけど使っていた」という様子が浮かび上がる。その結果、「怖い」「個人を特定されるような投稿はしないようにする」「友人ととった写真などは投稿しないようにする」「ネットは便利だけど危険だということを再確認した」といった内容が多かった。

生徒は授業を受けた直後であればしっかりと意識して行動しているので、トラブルに巻き込まれるようなことはないが、しばらくすると「慣れ」で授業を受けた直後の意識を少しずつ忘れてしまうようである。今後の課題は常にこういった意識を持ち続けるようにするにはどうすればよいのかということである。

4. 生徒の感想

一度出してしまった情報はもう隠せないと痛感した。

一人の身元がばれるとそこから簡単に知り合いの特定ができそうだなと思った。

デジタル化されたのは便利でよいことだと思うけど、使い方をきちんと理解したうえで使っていないと大変なことになると思いました。

いままでなんとなく使ってきた携帯やパソコンがとても怖いものだというのを改めて知ることができた。

ツイッターで個人情報丸出しの人たちは、自分の個人情報丸出しにさえ気付いていなくて危ないと思いました。この先このような人たちが増えないことを願っています。

自分がつぶやいたたった一言でその人を特定できるならば、いずれこれを利用して大きな犯罪が起きるかもしれないと思った。

予想以上にたくさんの方が自分のページを見てるんだっていうのを常に意識しようと思った。

参考文献・参考サイト

- (1) 高等学校学習指導要領 文部科学省（平成 21 年 3 月）
- (2) 実教出版 最新社会と情報